

世界の中の Yayoi?!



みなさん、「OIE」をご存知ですか?動物衛生に関する国際政府機関で、日本語では国際獣疫事務局と呼びます。私たち、OIEアジア太平洋地域事務所は、2011年にフードサイエンス棟の5階に引っ越してきました。獣医系でない方にも知っていただきたいので、少しOIEの話をごさせてください。

2011年にOIEとFAO(こちらは農学系の方はご存知ですよね?)は牛疫の根絶を宣言しました。伝染病の根絶宣言としては、1980年の天然痘以来、2つめです。牛疫とは偶蹄類のウイルス感染症で、牛や水牛で致死率が高いため、長い間非常に恐れてきた疾病です。欧州で牛疫が広がったことを契機に、OIEは1924年にパリに設立されました。伝染病の根絶のためには、情報共有と対策において国際的な協力が必須だと考えられたためです。



牛疫以外にも、口蹄疫、BSE、狂犬病など多くの疾病について、発生や防疫に関する科学的情報の収集と提供、国境で適用すべき検疫措置の国際基準の作成、加盟国の獣医サービスの強化などがOIEの主な活動です。BSEや口蹄疫のニュースを注意して聞いてみてください。「OIEの基準によれば…」とか「OIEの清浄国認定が…」という言葉が耳に入ってくるでしょう。OIEには自前の研究所はありません。科学的な知見は加盟国の専門家や研究所の協力を得て収集します。東大とのお付き合いも、食の安全研究センターがOIEの協力機関となった2009年以来、緊密になりました。そのご縁で入居させていただいたのです。私を含めアジア加盟国の獣医が5~6人、これに補助職員数名の小さな事務所です。

食の安全以外にも魚病、経済分析、獣医学教育の改善などでも大学と協力できそうです。加盟国の代表や専門家を招き、学内で時々会議を開いており、これを利用し、獣医学専攻の学生の実習も始めました。関心のある学生は大歓迎です。国際機関の仕事を経験できる場、情報の供給源として、是非、活用してください。活動の詳細は事務所のウェブサイト(<http://www.rr-asia.oie.int/>)でもご覧になれます。

国際獣疫事務局(OIE)アジア太平洋地域事務所
代表代行 石橋朋子